

岐阜県立岐阜商業高等学校

校 長 村山 義広
学校住所 岐阜市則武新屋敷1816-6 電話 058-231-6161

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜商業高等学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和7年2月5日（水）13：30～15：00
- 3 開催場所 岐阜商業高等学校 校長室
- 4 参加者
会 長 川島 政樹 カワボウ株式会社 代表取締役社長
委 員 大友 克之 朝日大学学長
和田 直也 岐阜市議会議員
大野 裕美 早田公民館 元館長
富田 洋子 全日制PTA特別活動委員長
落合 直美 定時制育友会副会長
学 校 側 村山 義広 校長
奈波 宏和 副校長
早矢仕 賢治 教頭
下平 昌子 教頭
田中 英淳 商業教育推進部長
後藤 敦史 教務部長
糸井 統 生徒指導部長
大池 須美子 進路指導部長

5 会議の概要（協議事項）

- (1) 学校長挨拶
- (2) スクールミッションについて（校長より）
- (3) 令和6年度の成果と課題（教頭・各分掌長より）
- (4) ご講評及びご助言（各委員より）
- (5) その他
- (6) 学校長挨拶

【全日制】

意見1：学校を卒業した若者をふるさとである岐阜にいかにかに定着させていくかという「ふるさと教育」が今、学校現場に課せられているところであるが、私は県岐商の生徒たちの帰属意識を高めることが「ふるさと教育」に直結していくと思っているので、スクールミッションに“各界のリーダーを輩出して商業教育をリードする”ということと合わせて“地域経済の発展に貢献できる人材の育成を目指す”ということが明記されたことは大変意義のあることではないかと思っている。また、県岐商のブランドを高めることが結果として「ふるさと教育」につながっていくと考える。進路指導全体の課題の中で近年、地元志向が強くて視野が狭い傾向にあるという表現があったが、各家庭の諸事情もあるわけで必ずしも地元にとどまることが視野が狭いというわけではないので、個に寄り添った適切な進路指導ができていればそれでよいと考える。

意見2：スクールミッションについては、いろいろ具現化されており、私どもの意見なども汲み取っていただき改善がなされていると理解している。ホームカミングデイについては、今後継続していくことで東京や大阪在住のOBなどが岐阜へ戻ってくる機会を作ることができるし、「ふるさと教育」ではないが、帰りにちょっと親の顔も見えていけるということも非常に大事なことでないかと考える。また、今年度は県岐商の創立120周年記念の周年行事が多くあり、さまざまな行事を

通じてあらためて県岐商の歴史と伝統の深さ、あるいは有為な人材を輩出しているということ強く感じた。人とのつながりが希薄になりやすい時代のなかで、このようなさまざまな機会を提供していくということは非常に重要であると感じた。

意見3：ホームカミングデイは私もOBとして参加し、大変有意義な時間を過ごさせていただいた。あれだけ若手のOBが集まるという機会もそうないのかなと感じた。来年度もぜひブラッシュアップして継続していただけるということで大いに期待をしている。その他も部活動でも毎年輝かしい功績で敬意を表するところである。スクールミッションについては、「習得」から「修得」に1文字変わっただけで大きく意味が違ってくると思うので、課題と言われている基礎学力の定着の部分はこの1文字が大きな結果を生むのではないかと期待をしている。

意見4：先日、近隣で刃物事件などがあり、地元としては警察と協力してパトロールを行ったり、小学生をグラウンドに誘導し、保護者に引き渡したりと朝から対応に追われた。地域としてそのようなことが起きたとき、学校と速やかに連携して対応していきたい。また、近年「闇バイト」に関する事件も多く、地域の老人が関わることもあるかもしれないので、また、学校の方でも「闇バイト」についての指導をしていただけるとありがたい。刃物事件のとき、学校としてはどのような対応をとられたか。

⇒全日制は通常どおりの日程で授業等を行った。職員室にある「さすまた」を手元に準備するとともに校内を巡回しながら、校舎1階部分の扉をすべて閉めた。また、昼休みに学校一斉メール「すぐー」にて生徒、保護者等に注意喚起を行った。定時制は休校措置をとった。

意見5：1年間このような貴重な会議に出席させていただいて、いろいろな意見を聞かせていただき感謝している。子どもたちも皆さんに見守られながら、良い学校生活を送れたのではないかと思っている。「闇バイト」の件についても、学校がいろいろな対応をしていただき感謝している。今後、子どもたちが卒業後に地域に何らかの貢献ができるような子に育ってくれたら良いなと思っている。

意見6：学校と地域との交流事業を例年、秋頃に開催していたが、学校の忙しい時期と重なっていたので、次年度から夏頃に日程を変更して実施する計画を立てている。日程が決まり次第、連絡させていただくので、またご協力をお願いしたい。

【定時制】

意見7：先生方にはいつも生徒の不満等を聞いてくださり大変感謝している。また、3年間で資格もいくつか取らせていただけたし、生徒会役員もやらせていただいたりして、学校生活を送る中で人間関係の作り方など子どもなりに成長できたのかなと感じている。卒業後、社会でうまく適応していけるか心配であるが、私も役員をやらせていただいて大変良かったと感じている。

意見8：全日制と同様、間口を広げ、本人の適性にあった進路指導を行っていただきたい。定時制の就職の求人募集状況はどうであるか。

⇒求人票は多くいただいている。今年は大手企業からの少数の募集に対して、他の全日制の生徒と同様に受験して見事に採用を勝ち取った生徒もいる。

意見9：集団生活が苦手であるということを、学校教育を通じて克服させることも当然必要だが、個性を伸ばしていくという視点も大切であると考え。集団生活が苦手でもできる職種はあるし、むしろそこで素晴らしい能力を発揮する方も少なからずいる。大人数での一斉授業で運営する日本のこれまでの教育手法が見直されている中で、本校定時制が行っている少人数教育はもっと大胆に実践していても良い時代を迎えたと考える。

意見10：現代の働き方は多種多様であるので、集団生活が苦手でもそれをマイナスに考える必要はない。もっと自己肯定に舵を切ったご指導をしていただけると良いのではないかと考える。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、スクールミッションの最終承認と今年度の学校運営全般について、学校側から成果と課題の報告を行った。また、委員の皆様から種々の意見交換が行われたうえで、全委員より本校の学校運営における最終報告について、承認が得られた。

さらに、企業、地域、PTAなど様々な分野から多岐にわたるご提言やご助言をいただき、今後の学校教育を運営するにあたり、大変参考となった。来年度の学校経営に活かしていきたい。